

# 図書館員のおすすめ本

## 小学生

### 低学年（1・2年生向け）



『まざっちゃんおう！  
いろいろな いろのおはなし』  
アリー・チャン／作・絵  
小栗左多里／訳／くもん出版

#### 【内容紹介】

仲良く一緒に暮らしていた、赤、黄、青の三色。ある日突然、自分の色が一番だと言い始めて…。違いを受け入れ、共生していく大切さを描いた一冊。『ダーリンは外国人』でおなじみの漫画家、初の翻訳絵本。

#### 【図書館員からのコメント】

それぞれの個性を認め、違う者同士が混ざり合うことで、新しいものが生まれる。そこには新鮮でおもしろい発見があるはずです。勇気を持って、お互い一歩ずつ近づいてみませんか。

### 中学年（3・4年生向け）



『からだとはたらくどうぐたち  
車いすにのったらどうなるの?』  
作／ハリエット・ブランドル  
総合監修／中野 泰志  
監修／桂 律也 ほるぷ出版

#### 【内容紹介】

車いすの「スイスイ」と、足の骨の「ホネッチ」が案内役になって、車いすのしくみや使い方、やっていいことダメなことなどを紹介。当事者の立場を想像しながら、バリアフリーへの理解を深めることができます。

#### 【図書館員からのコメント】

わたしたちの体を支えている「骨の仕組み」や「バリア」をなくすためにできることを考えるきっかけになりました。

### 高学年（5・6年生向け）



『見て、知る、サステナブル  
はじめての脱炭素』  
すなだゆか 作・絵 森川潤 協力  
／小峰書店

#### 【内容紹介】

地球温暖化対策に必須の「脱炭素」。楽しいビジュアルから、一目で理解できます。二酸化炭素排出量をできるかぎりおさえた「脱炭素社会」の実現に向けて、何が必要なのかを考えていくための1冊です。

#### 【図書館職員からのコメント】

日本に出ている影響や家庭からの二酸化炭素排出量など、身近な物事を取り上げています。二酸化炭素の排出量をおさえることの大切さを感じられました。

## 中学生



『あそんでおぼえる 手話』  
監修／江副 悟史  
編・著／こどもくらぶ  
／岩崎書店

#### 【内容紹介】

手話は、耳が聞こえない人にとって自分の考えや気持ちを伝えることのできる大切な「ことば」。手話には文化や歴史があり、使う人の国や地域、年齢によっても違います。まねっこ手話、ジェスチャー手話、指文字などイラストを見ながら学べます。

#### 【図書館員からのコメント】

以前から手話を覚えたいと思い読んでみました。簡単なあいさつや自分の名前の指文字など、わかりやすく書かれているので、はじめて学ぶ方にもおすすめです。



『夜空を見上げるのが楽しくなる！  
星座と神話のキャラクター図鑑』  
佐藤 有紀：著／少年写真新聞社

#### 【内容紹介】

日本で観られる33の星座を、かわいらしいキャラクターにして紹介。夜空を眺めるのが楽しくなる、星座の“超入門”図鑑です。

#### 【図書館員からのコメント】

誕生星座が実際に夜空に浮かんでいる形や、それと関係の深いギリシャ神話が紹介されています。自分や、家族、友だちの誕生星座を調べて、楽しんでみましょう。



『都市伝説探偵セツナ』  
編 都市伝説探偵事務所、  
絵 Jay／ポプラ社

#### 【内容紹介】

恐怖一。  
深夜のドライブするエミリーのあとを猛スピードで追いかけてくる車の目的とは)

戦慄一。

ニューヨークの下水溝にひそむとうわさの危険生物。その正体は……。

世界中に広まる奇妙であやしい都市伝説。

そんな、奇妙な都市伝説を読んで、真相を推理せよ！

「読解力」と「考える力」が身につく、新しいタイプの謎解き本の誕生です。

#### 【図書館職員からのコメント】

挑戦状が示されているので、謎解きをするワクワク感があります。いろいろと想像する楽しみもありました。